

今年度net総括しどうだったか

- ・他事業所の方々と顔を合わせることができよい機会だった
- ・日頃から他機関と顔を合わせ連携しておくことの大切さを実感できた
- ・事例検討の目的を作り、地域課題に落とし込むところまで取り組むことができた
- ・理想論のようなことも意見出しできる場であった、参加しやすい事例検討の形式だった
- ・顔の見える関係性があるからこそ話せることがあった
- ・自由な意見を発信できる場であった、自立協について、保土ヶ谷区について振り返りながら参加できた
- ・意見交換をする中で普段の業務のモチベーション向上の機会となった
- ・自由な事例検討のアイデア出しができ、活気のある会となった
- ・他機関、他分野との関わりから、次年度の共催など繋げられる取り組みができた
- ・netや自立協の変化を感じられる1年であった
- ・互いのストレングスを認め合える雰囲気があった
- ・若手交流会や事例検討を通して学びを深めることができた

「来年度もう少しこうなるといい」をテーマにグループワーク

グループ1	【訪問看護wing、生活支援センター2名】 ・事例検討を他区が見学に来るくらい、保土ヶ谷の名物にしたい ・当事者の方を招いて検討したり、検討後その後の経過を追ったりできるとよい ・事例検討をするグループ、様子を見て意見交換をするリフレクティング ・病院やケアプラザを交える検討
グループ2	【ゆめ計画相談、グランドマーリン、エンラボカレッジ横浜】 ・事例検討を通して出た共通課題について、区に足りないもの、もっとできることを検討する ・就労支援の視点での事例検討 ・保土ヶ谷区内での普及啓発として互いの事業所紹介

グループ3	【港北病院、わおん計画相談、ポート葦、ウェルビー桜木町】 ・分科会から全体会へコミットし巻き込めるようにする ・事例検討のグループ編成を同じ事業所や業種にする ・出張相談やワークショップなどのイベントを開催する
グループ4	【区、今井地域ケアプラザ、横浜SSJ】 ・支援者が元気になる事例検討 ・より多くの支援者を集めた交流会
グループ5	【区、区社協、わおん障がい者GH】 ・楽しいことを共有し一緒に取り組む(例:netで畑を持ち、焼き芋イベントを通して地域と関わる) ・学校に届ける場を作る(若者のメンタル、対人関係スキルを学ぶ機会を提供)
グループ6	【基幹相談支援センター、銀河和田町、生活支援センター】 ・部会参加を通して ・課題解決にこだわらず、何かアイデアを得て帰れる場としたい